

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和元年度第1回地域ケア推進会議を開催！

6月26日小諸市役所にて、令和元年度初回となる地域ケア推進会議・生活支援体制推進会議を開催しました。

今回は前回の推進会議で取り組むこととなった、
Ⅰ身寄りのない住民の身元保証
Ⅱこもろ愛のりくんを含めた移動手段・外出付添いの2項目について実態把握・検証の中間報告を行いました。また、こもろ愛のりくんについては、都市計画課の担当者・係長から、運行の仕組みや利用状況、費用などについて説明を受け、感想や質問、更に知りたい事項などをグループワークで活発に意見交換が行われました。



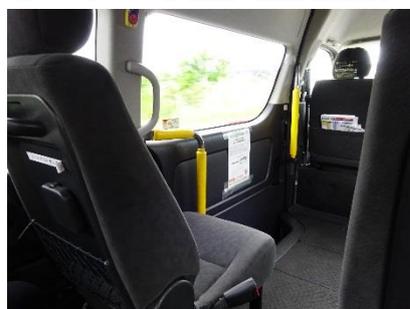
【第2層協議体】体験！！こもろ愛のりくん



令和元年6月8日（土）『こもろ愛のりくんを含めた移動手段・外出付添い』の実態把握のため、第2層生活支援体制整備推進会議（協議体）メンバー4名で、こもろ愛のりくん利用体験会を開催しました。行き先は『あぐりの湯こもろ』です。全員がこもろ愛のりくん初体験でした！

事前に、こもろ愛のりくんコールセンターに申請書を提出し利用者登録を行ったうえで、出発1時間前までに電話で予約をします。予約は名前と電話番号を伝えた後利用日と時間を伝えれば
予約完了です！コールセンターの方はとても親切で、登録も予約も手軽にできました。

6月8日、10時半の便で、自宅からあぐりの湯までお願いします！



車内は手すりもあり、乗り心地は快適でした。医療機関の玄関で降りた乗客の方がおり、ドアtoドアの便利さを感じました。15分程でコールセンターに到着です。

乗り換えのため、駅前のコールセンターで待機します。コールセンターは広々としており、無料でお茶も提供されています。乗客同士のコミュニケーションの場になっている印象でした。



川辺線に乗り換え、無事にあぐりの湯に到着！！

百聞は一見にしかず！実際に体験することで、こもろ愛のりくんのイメージが大きく変わりました。皆さんも実際に利用して、便利さをぜひ実感してください



【認知症介護者応援団旗】



地域ケア推進会議の取組が形になりました！！

昨年度、地域ケア推進会議で協議した『認知症介護者家族支援』の取組の一つとして、地域ケア推進会議委員の選出団体である『小諸市ケアマネ連絡会』より、地域の認知症介護者の方が相談したい時に、市内介護事業所等が気軽に相談できる場所であることが分かる目印を制作することを提案。

実際に認知症介護者応援団旗と案内板を制作し、この度、市内介護事業所等に設置されました。

◆設置場所◆

小諸市内の各介護保険事業所、地域包括支援センターや市高齢福祉課の窓口に設置（市内 32 カ所）

◆相談対応方法◆

応援団旗設置事業所等は、専門的な知識を活かし相談に対応します。また、状況に応じ、地域包括支援センターに繋ぎ、継続的な相談や介護サービス利用など、適切な支援に繋がります。



← 応援団旗

卓上サイズののぼり旗
※応援団旗の制作にあたっては、小諸市社会福祉協議会のご協力のもと、赤い羽根共同募金の一部を活用しています。

↓ 案内板



よろしくお願ひします！【第2層生活支援コーディネーター】

★今年の4月より、小諸東中学校区の生活支援コーディネーターが変更になりました。

昨年に引き続いて
よろしくお願ひします！



皆さんの声を大切に
つながり、ふれあいのある
地域を目指します！

【左】第1層・2層（芦原中学校区）生活支援コーディネーター：小諸市社会福祉協議会 鷹野聡史さん

【右】第2層（小諸東中学校区）生活支援コーディネーター：小諸市社会福祉協議会 上原陽子さん

【編集後記】平成 27 年に運行がスタートした【こもろ愛のりくん】、いつか登録して、実際に利用してみよう！と思いながら、自家用車の便利さに流され…登録のタイミングを逃していました。今回、実態把握のため利用する機会があり、本当に良かった！と感じています。小諸市は自家用車が生活の一部である一方で電車やバス等の公共交通機関は乗り慣れない方が多い地域と言えます。早いうちから自家用車と併用でこもろ愛のりくんを含めた公共交通を利用してあげば、いざ免許返納の時の自分のため、また、地域の大切な皆の足を守ることに繋がります。

利用体験会で出かけたあぐりの湯周辺は、見どころ満載で、帰りの便を待つ間に、イチゴ狩りや森林浴、直売所でお買い物と大満喫の一日になりました。

